

Voice

ヴォイス
第10号

大分県立芸術文化短期大学 サービスラーニング公式新聞

第10号/発行2014年3月20日



クチナシで炊いた黄飯



竹田の農家民泊・とうきび収穫



自分の物語を、作る！語る！発信する！



クチナシの実収穫体験



菅生とうきびフェスタ

サービスラーニング



きっかけバス



七夕まつり『七夕プロロードウェイ』



サイバー防犯ボランティア

竹田まちなか情報発信



情報コミュニケーション学科 2年 三浦楓

竹田市とは5年前から、サービスマーケティングで深い交流を行ってきました。活動の内容は、主に竹田のまちなかで行われるイベントの手伝いやボランティア活動をしてFacebook・ホームページで情報発信をしています。たとえば、竹楽。年間で一番大きなイベントで、開催中の3日間で10万人以上の方が訪れます。竹灯籠の灯りでまちなかは幻想的な世界に包まれます。竹楽は里山保全の一環としても行われており、ただ綺麗だけではなく環境のことも考えたイベントなのです。私たちは竹灯籠を並べる作業の手伝いをし、地元の方々の想いや活動を発信しました。これまでの活動で課題点として挙げられるのは「幅広い世代の人と交流すること」です。これからはもっとまちなかの人達の声を聞き、年代の垣根を越えて活動を行っていくことが必要だと感じます。

保戸島映像音楽祭

私は、津久見市出身です。島の魅力に感動し、2年間にわたり地元保戸島での活動を行ってきました。少しでも多くの方に、保戸島の魅力を感じてほしいと思い、2つの企画を開催しました。1年目は、100枚の学生写真のほか、保戸島の昔の写真などを展示した写真展を行いました。2年目は、昨年11月3日、4日に「保戸島映像音楽祭」開催しました。1年間をかけて企画・準備を行いました。清家麻衣さんのソプラノコンサートや島の小中学生が出演する短編映画「海上の迷宮」の上映を行いました。200人以上の観客を迎え、終了後には、たくさんの方から「コンサートを開いてくれてありがとう」「またきてね」と声をかけてもらい、この「保戸島映像音楽祭」してきてよかったと思える瞬間でした。区長さんをはじめ保戸島の方々の協力には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、社会人として、地元の活動に精一杯協力していきます。

情報コミュニケーション学科 2年 川野亜弥



おおいた活性化ネット

おおいた活性化ネットワークとは、大分青年会議所のメンバーと大学生や高校生が共に大分の活性化を目的に、様々な企画を行うグループで、今年度は3つの活動を計画し運営しました。8月に市街地で行われる『七夕プロードウェイ』では、一万個の風船を一緒に夜空に放つ、風船リリースを行いました。一万個の風船を膨らまし結ぶ作業は、指の痛さと真夏の暑さとの闘いでした。途中でギブアップしそうになりながらも最後まで頑張って膨らました風船が一緒に飛んでいく場面は圧巻でした。その他にも、10月に『おおいた夢色音楽祭』、11月に『わくわくワークランド』を行いました。全体を通して、今までは青年会議所の方に指示されて動くことが多かったのですが、二年目からは指示される前に行動できるようにしていきたいと考えています。また、活動に参加する他大学の学生とも積極的に交流しながら、新しいメンバーとも良い関係を築いていきたいです。

情報コミュニケーション学科 1年 東由希子



国際ボランティア



国際文化学科 2年 出口英

私たちは、アメリカと大分でボランティア活動に参加しました。アメリカでは、ホームレスの方に食事や寝る場所を提供している施設でお手伝いをしました。初めはホームレスの方に会うのが不安で仕方ありませんでした。しかし、実際に施設で働くボランティアの方々に会い食事の準備を始めると、皆さん優しく不安は一気に和らぎました。そして配膳が始まりホームレスの方々と接すると、想像していた印象とは全く違い、明るく元気な人たちがいて驚きました。大分では、大分国際車いすマラソンでのボランティア活動を行いました。英語圏の選手だけではなく韓国やスペイン、フランスなどの選手たちと関わる機会も多かったです。そこで全く話すことができなくても身振り手振りでコミュニケーションをとることができるということを実感しました。この二つのボランティアを通して、ただ活動に参加して何かに貢献するだけではなく、人との関わりで自分たちにとって大きなことを学びました。

第5回 地域活動フォーラム開催

2014年1月14日・21日に、サービスマーケティングの報告会である『地域活動フォーラム』が、芸文短期大学の講義室にて開催されました。25年度に行われた活動は全部で46種類。それぞれのグループの代表者によって、1年間の取り組みや成果が発表されました。当日は学生の他にも活動の関係者や来年度入学予定の高校生なども参加され、盛り上がりを見せました。

あしなが学生募金とは、親を亡くした子ども達が学校へ行くための奨学金を集める学生運動です。毎年、春と秋(4月と11月)の2回、全国で200カ所以上で実施されています。私は大学へ入学してこの活動と出逢い、ボランティアスタッフとして継続して活動するようになりました。活動の中で実際に遺児・貧困家庭の学生と出逢ったことで、現状は深刻で、進学したくてもお金がないために働かざるを得ない現状があると知りました。本気でこの人たちのためになりたい、夢を絶たれる現状を見逃させないと思うようになり、社会に対して問題意識を持てるようになりました。この貧困の連鎖を打破すべく今も活動しています。後輩へ伝えたいことは、貧困などの社会問題に目を向け、自分ごととして考えてみてほしいです。私たちと一緒に貧困について考えて行動を起こしてみませんか?参加お待ちしてます!

情報コミュニケーション学科 1年 山口奏子



あしなが学生募金活動



情報コミュニケーション学科 1年 岡田優希

私が、この活動に参加したきっかけは、普段学んでいる事を活かせると思ったからです。はじめに、デザインの意味や作成の経緯を知るため、本学美術科でプロダクトデザインの講師をなさっている松坂洋三先生に取材をさせていただきました。次に、宣伝方法も工夫しました。女子学生が多い本学の特徴を踏まえて、ポスターのデザインを可愛くしたり、SNS上で話題になるようにインパクトのある巨大ボールペン模型の作成も行いました。最終的に、多くの方が活動に賛同してくださり、当初の販売目標である100本を大きく上回る、172本のボールペンを販売する事が出来ました。とても満足いく結果となり、自分自身も成長することが出来た有意義な活動でした。今回の活動では、学内を中心とした販売活動に留まりましたが、機会があれば、ぜひ今度は外部での販売活動も行いたいです。

赤い羽ボールペン応援プロジェクト



情報コミュニケーション学科 2年 工藤彩加

毎年7月23日に加藤清正を偲んで行われる鶴崎二十三夜祭。今年度も若狭から集まった約40名のスタッフで活動を行いました。ステージ企画・ワークショップ・国道1BAN・エコステーションの4グループに分かれて活動をしました。今年度からステージ企画等、新しい取り組みがはじまったことにより、本番まで苦労することが多々ありましたが、自分たちの役割をしっかりと果たし、当日は大成功に終わりました。地域の方たちからもあたたかい言葉をかけてもらうことが多く、私たちの活動が評価してもらっていると感じました。これからもこのような活動が続いてほしいし、来年はさらにより良いものになっていることを期待したいです。

清正公鶴崎二十三夜祭

私は、1年生の時から、府内学生エコフェスタに関わってきました。このイベントは、平成22年から、大分市役所環境対策課により、国際環境デーや夏至のある「環境月間」の6月に、エコキャンペーンイベントとして、府内五番街商店街で開催されています。今年度は、私たちが実行委員長となり開催しました。準備は、3月から始めました。商店街の方々と話し合いを重ね、市役所へ企画書を提出し、警察へ道路利用許可を頂き、近隣のお店などを回り、ご協力・ご声援をお願いしました。1年時は、自分たちで考えるというより、先輩方から聞きながらの活動でしたが、2年生になり私たちが主体となって動くことで、書類の作り方から大人との話し合い方、人との関わり合いの大切さなど、普段は経験することのない多くの事を学びました。今後は、キャンドルを置く距離を延ばしたり、南蛮ステージを拡大したいという声も出ています。街の活性化につながるよう、これからも、先輩から後輩へと続けていってほしいです。

情報コミュニケーション学科 2年 阿部美月



府内学生ECOフェスタ

高校生の感想

前回と今回参加しましたが、全体の印象として私も早く活動に参加したいと思いました。どの活動にも興味を持ちました。ですが、特にあしながなどの募金活動や森林セラピーが気に入りました。発表を聴くのは楽しかったです。私も来年度からプレゼンやその制作をしていかなければいけないので不安や緊張がありますが、頑張りたいです。地域活動もあれば、マレーシアや韓国など海外でも活動もあり、すごいなと思いました。多くの活動を若狭で行いたいです。

前回14日と今回21日、2日間参加しました。若狭では多くのボランティアに参加しているとオープンキャンパスの時に聞き、内容についてずっと気になっていました。今回の会に参加し、詳しく知ることができて良かったと思います。七夕プロードウェイの活動に強く魅かれました。1万個もの風船を膨らまし空へ放つという事はこういった企画がなければ絶対に出来ない事だと思うので、是非参加してみたいです。

サービスマーケティングとして、授業の中でたくさんの方と交流ができ、さらに、自分たちの力で活動の企画や運営をしていくことができるのは、魅力だと感じました。自分の興味のある活動に積極的に参加して、いろいろな経験を積むことができると思うので、いろいろな活動に参加したいです。また、それが自分の進路や就職につなげられれば良いと思います。

自ら行動して、町おこしや地域活性化をしていて、そして、楽しそうにしている先輩方の姿を見て、私も入学したら何か一つでも取り組んでいきたいと思いました。「七夕プロードウェイ」では1万個もの風船を使ったということにとても驚きました。映像を使った宣伝などや交流を積極的に行っていきたいと思いました。「竹田農家民泊」は、宿泊先の家族の方とのコミュニケーションを取り、とても楽しそうに活動をしていて、自分も参加してみたいと思いました。



サービラーニングとは...

サービラーニングとは、大学で学んだ事の意味を地域活動の中で確認し、地域活動の中から新しい学習課題を大学に持ち帰ることを指します。このサービラーニングはアメリカで確立された教育方法で、『知識の真理の研究は、実際に経験と結びついてこそ価値がある』とするプラグマティズムと呼ばれる思想を基本としています。サービラーニングは芸文短大が行う『教育』ですので、単なる『ボランティア』とは違います。

サービラーニング2013年度1年間の活動

- 4月 あしなが学生募金
iichiko グランシアタジュニアオーケストラサポート (毎月)
府内学生 eco フェスタ準備開始
アースデーおおいた
上野の森の会 (毎月)
清正公二十三夜祭「国道1BAN」選考会
- 5月 アントレプレナーシップ
森林セラピー
佐賀関縦木山の山開き
保戸島映像音楽祭2013写真撮影
清正公二十三夜祭活動会議
oitaから世界を覗くリーダー会議 (竹田)
大分青年会議所5月公開例会『学ぼう!仲間力』
おおいた活性化ネットワーク会議 (毎月)
- 6月 2013年子どもキャンプの為に事前研修
竹田情報発信事業フェイスブックミーティング
府内学生 eco フェスタ
大友プロジェクト大友遺跡撮影
AQUA ソーシャルフェスホテルをみんなで鑑賞しよう
清正公二十三夜祭現地視察: 現地視察
地球の小さな田ノ口田植え
自分戦略デザイン大学開校講座第2弾 講演会
AQUA ソーシャルフェス田ノ浦ビーチ、クリーン大作戦!
竹田んお掃除『竹リナーニング』in 八幡川横丁

- 7月 保戸島夏祭り 写真展の為に撮影会・交流会
ホルトホール大分の開館記念屋外イベント
竹田農家民泊
竹田市とうきびフェスタ in 菅生
清正公二十三夜祭
つばさ学園療育ボランティア
自分戦略デザイン大学開校講座第2弾
サイバー防犯ボランティア結成 (定期的に活動)
- 8月 大分七夕祭り「府内戦紙」
大分七夕祭り「七タブロードウェイ」
豊肥線開通式 (竹田)
日本赤十字社映像編集
わんぱくキッズふれあいフェスタ
2013年子ども劇場キャンプ指導員
日韓短編映画制作交流
ソーシャルファイブを育てよう! 別府湾会議 2013
- 9月 保戸島映画撮影
おおいたスポーツ広場 2013〜トップアスリートといひ汗流そう〜
伝えるチカラ〜活かそう! コミュニケーションカ〜
森林セラピー【柞原神宮コースマップ制作】
- 10月 大分ケーブル番組制作補助 (-3月)
おおいた夢色音楽祭 2013
お稲荷さんが舞い込んだ in 竹田取材
あしなが学生募金
大分国際車いすマラソン
湯布院映画祭 2013
赤い羽根ボールペン応援プロジェクト (定期的に活動)

- 11月 保戸島映像音楽祭2013
豊の国YOSAKOIまつり
竹田『楽市楽座』
あしなが学生Pウォーク
森林セラピー-天面山餅つき・伊予床神楽
わくわくワークランド
竹田竹楽
こどもルームのお手伝い
- 12月 森林セラピー陶芸体験
地掘り大分竹田
竹田社会分析公開シンポジウム
ひまわり学園 餅つき大会
つばさ学園療育ボランティア
- 1月 クチナシの実収穫作業
森林セラピー-肥後街道周辺と岡川のお茶農家の調査
- 2月 府内南蛮ライティング
森林セラピー-肥後街道周辺と大分ダムの調査
竹田食育フェスタ
- 3月 あいネットワーク音楽会
森林セラピー-トレイルラン撮影
つばさ学園療育ボランティア
iichiko グランシアタジュニアオーケストラ
第6回日韓次世代映画祭

今後のサービラーニングの予定

別府日韓次世代映画祭 2014 3/28(金)▶30(日) 別府市中央公民館 <http://ameblo.jp/jk-nextfilm>

今年で6回目を迎える『別府日韓次世代映画祭』が3月28日(金)〜30日(日)に別府中央公民館で行われます。今年も豪華ゲストが来日。今韓国で注目の若手俳優チョ・ジョンソクさんやオム・ジウォンさん、映画『観相師』の監督ハン・ジェリムさんが映画祭のゲストとして招かれます。大注目の『別府日韓次世代映画祭』を執り行うのは芸短生15名とAPU、NBUの留学生たち。その学生代表である情コミュ1年生の能勢麻里子さん他に、お話を伺いました。

今回の見所は?▶28日(金) 18:00〜上映の清流映画祭作品賞『ソウォン (願い)』では主演女優のオム・ジウォンさんが舞台挨拶をされます。また29日(土) 13:50〜上映の『観相師』は日本初上映の作品です。更に監督のハン・ジェリムさんと出演のチョ・ジョンソクさんがいらっしゃいます。

プログラムを見ると29日9:30〜「日韓学生合作映画」とあるけど...?▶これは、去年の8月に芸文短大の学生とソウル芸術大の学生によって撮影された短編映画5本をまとめたものです。その中の一つは芸短の卒業生立石はるなさんが脚本演出をした作品もあります。

今回の映画祭で芸短生はどんな役割を果たすの?▶会場設営からお客様の誘導、司会進行、ゲストのおもてなしなど様々な役割をします。

準備はいつから?▶私(能勢)と副代表の佐藤さんは12月の初めから韓国に行き準備を始めました。

最後にメッセージと意気込みを!▶芸短生以外の学生や大人の方々をまとめるのはとても難しいですが、すべき事をひとつひとつしっかり整理して、成功させたいと思っています。去年よりバージョンアップした映画祭になっていますので、是非皆さんに来てほしいです。(能勢) 企画にかかわるのは今回が初めてですが、会議を重ねるにつれ自分のやるべき事が分かってきました。当日は何が起こっても大丈夫のように頑張ります。(西) 映画祭の参加は初めてですが、学生や地域のスタッフ



さんと上手く連携して成功させられるように、自分のやるべき事をしっかりやっていきたい。(門田) スタッフ・お客さん・ゲストみんなで楽しくやれたらいいと思う。そしてこれが別府や大分の発展につながればいいと思う。(三代)

◆お問い合わせ◆
別府市観光協会 (Tel.097724-2828)
情コミュ教授 下川正晴 (Tel.090-9796-1720)

4月5・6日 学生カフェレストラン (佐伯市)
佐伯市の仲町商店街で学生が企画運営のカフェレストランが開かれます。佐伯鶴見産野菜のサラダバーとマリネレモンを使った飲み物、お菓子の販売があります。

4月中旬〜下旬 あしなが学生募金活動
春期募金活動が行われます。大分市中心部 (トキ八前・駅前など) や別府駅にて街頭募金の呼びかけが行われます。

4月27日 上野の森の会 (毎月第4日曜日)
大分市中心部にある“上野の森”。清掃活動や森林浴をしながら、環境について考えます。活動の後の交流会もお楽しみのひとつ!!

その他の予定は、芸文短大情報コミュニケーション学科ホームページの『地域活動予定』をご覧ください。

様々な活動の最新情報がわかる!! ホームページ&フェイスブック

- 「たけたみつけた」
<http://cis.oita-pjc.ac.jp/taketa/index.html>
- 「たけたみつけた」
<https://ja-jp.facebook.com/taketaigeibuntandaikouryuu>
- 「森林セラピー大分市芸文短大連携事業」
<https://ja-jp.facebook.com/Sinrintherapygeibuntandai>
- 「おおいた活性化ネット芸文短大」
<https://ja-jp.facebook.com/ooitakasseikanet>
- 「大分まちなか TV」
<https://www.facebook.com/13yatv>



大分県立芸術文化短期大学 サービスラーニング公式新聞
〒870-0983 大分市上野原 電話 11 番号 大分県立芸術文化短期大学
tel.097-545-0542 (代表) / fax.097-545-0543
http://oitapc-cis.jp/ oita-syuto@oita-pjc.ac.jp (地域活動室)